

足立区教育委員会 様

足立区立東島根中学校

校長 大瀧 訓久 [印]

令和 8 年度教育課程について (届)

このことについて、足立区立学校の管理運営に関する規則に基づき下記のとおりお届けします。

記

1 教育目標

- (1) 学校の教育目標 「思いやる 自ら学ぶ やり通す」
人権尊重の精神を培い、基礎・基本を身に付け、思考力・判断力・表現力豊かで主体的に社会に参画する態度を育成するため、次の目標を設定する。
教育目標：「思いやる 自ら学ぶ やり通す」

- (2) 学校の教育目標を達成するための基本方針
学校経営方針に基づいた学年経営、学級経営の一貫性を確立し、相互に有機的な関係の充実を図りながら、次の事項を基本に教育目標の具現化を推進する。

ア 学力向上 ～学習者中心の学びの推進～



- ・授業改善の推進「足立スタンダード」に基づく授業実践を徹底するとともに、生徒が主役となる「学習者中心の学び」への転換を図る。
- ・学習習慣の確立：朝読書・朝補習の充実、家庭学習ノート（東島根っ子ノート）の継続的な取組により、基礎学力の定着と自ら学び、最後までやり通す習慣を確立する。

イ 自尊感情の向上 ～ウェルビーイングの向上～



- ・自己有用感を高め、安心・安全な集団づくりを推進する。
- ・話し合い活動、異学年交流、集団討論等を通じ、コミュニケーション能力と他者を尊重する心を育む。
- ・主体的・対話的で深い学び：授業改善を通じて知的好奇心を満たし、学校生活におけるウェルビーイング（幸福感・充実感）を高める。
- ・「足立区いじめ防止基本方針」及び「学校いじめ防止基本方針」に基づき、組織的かつ迅速に対応する。
- ・人権教育や道徳教育、全教育活動を通じ、生命尊重、差別や偏見のない公正な態度を育成する。

ウ キャリア教育 ～主体的に社会に参画する態度の育成～



- ・将来を見据え、自らの生き方を考える機会を創出する。
- ・職場体験活動をはじめ、高校教師や卒業生による講話など、体験活動を行いキャリア教育を推進する。
- ・進路冊子の活用や面接指導等を通じ、上級学校への意識を高めるとともに、社会的・職業的自立に向けた基礎となる能力や態度を育てる。

エ 多様な子どもに対する学習の保障



- ・関係諸機関等と連携し、合理的配慮に基づいた特別支援教育を学校全体で推進し、一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援体制を構築する。
- ・SSRと連携し、全ての生徒が安心して学べる環境と居場所づくりを推進する。
- ・外国にルーツを持つ子どもなど、人間尊重、生命尊重、自然尊重の教育の徹底を図り、あらゆる偏見や差別をなくし、生命と自然への畏敬の念をもった人間を育成する。

オ DX化の推進 ～情報活用能力の向上～



- ・タブレット端末を日常的に活用し、情報を主体的に収集・整理・発信・共有する力を高める。
- ・データに基づいた利活用や個に応じた学習を推進し、ICTを活用した対話的な学習を組み合わせ、主体的・対話的で深い学びを実現する。

カ 社会に開かれた教育課程 ～地域協働の推進～



- ・地域社会と目標を共有し、一体となって生徒を育む。
- ・開かれた学校づくり協議会等と連携し、地域の人的・物的資源を教育活動に積極的に取り入れる。
- ・保護者や地域への情報発信を積極的に行い、信頼される学校づくりを推進し、家庭・地域・学校が協働して生徒の成長を支える体制をつくる。

2 指導の重点

(1) 人権教育

- ・規範意識及び自他の生命を尊重する精神と態度を育成するため、道徳教育を中心に人権プログラム等を活用して生徒の人権意識の向上を図る。

(2) 各教科、道徳科、総合的な学習の時間及び特別活動

ア 各教科

- ・学習者中心の学びを推進するために、自ら課題を設定して自分の考えを論述させたり、ICTを利活用してレポートを作成させたりする等の活動を実践し、課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養う。
- ・各教科指導において、学力調査のSP表分析等に基づき、生徒への個に応じた指導や反復学習を計画的に行い、学力向上を図るとともに足立スタンダードを活用した継続的な授業改善を推進する。
- ・数学・外国語科では「東京方式 習熟度別指導ガイドライン」に基づいた習熟度別少人数指導を全学年で行い、より細やかな指導を行う。
- ・本校独自の家庭学習ノート「東島根っ子ノート」や宿題を活用し、家庭学習の習慣化と主体的に学習に取り組む態度の育成を図る。

○ 国語

文章を正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成するために、言葉による見方・考え方を働かせ、様々な種類の文章を読み、表現を味わいながら心情や場面を読み取る活動等を行っていく。また、言葉についての学習や古典の学習においては、自己の言語生活や現代社会との比較・考察を通して、わが国の言語文化を理解し尊重する態度を育てる。

○ 社会

グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成するために、社会的な見方・考え方を働かせ、自分の考察を加えて論述したり、表現したりする。

○ 数学

数学的に考える資質・能力を育成するために、数学的な見方・考え方を働かせ、事象や数量、図形及びそれらの関係などに着目して課題に取り組むことができるようにする。数学的な活動を通して、個人、グループで考える活動を通して、全体で考え方を共有し、多面的・多角的に考え論理的思考力を高める。

○ 理科

自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するために必要な資質・能力を育成するために、理科的な見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察・実験を行う。また、一人一台端末を使い、レポート作成やディスカッションによって、情報処理能力や個別に表現する力を育てる。

○ 音楽

生活や社会の中の音や音楽と豊かにかかわる資質・能力を育成するために、音楽的な見方・働き方を働かせ、表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽の楽しさやよさに気付かせる。また、合唱や合奏など全員で一つの音楽をつくりあげる体験を通して、協働する喜びを感じる指導を重視する。

○ 美術

生活や社会と豊かにかかわる資質・能力を育成するために、造形的な見方・働き方を働かせ、豊かに発想や構想を練られるよう、自然や身近なものをモチーフにしたラフスケッチやクロッキー表現を取り入れることで、創造的に構成を工夫する能力を養う。

○ 保健体育

生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成するために、体育や保健の見方・考え方を働かせ、仲間との協力や教え合う姿勢を身に付けさせる。安全や礼法について徹底させ、相手を尊重する態度を養う。ICT等を利活用し、自己表現する楽しさを味わわせるとともに他者とのコミュニケーション能力を養う。

○ 技術・家庭

よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成するために、生活の営みに係る見方・考え方や働き方を働かせ、知識を相互に関連付けてより深く理解するとともに実践的・体験的な学習活動に取り組ませる。

○ 外国語（英語）

コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成するために、学習到達目標を踏まえ、外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通してコミュニケーション能力を養う。

イ 特別の教科 道徳

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、全員の教員が道徳の授業を担当し、道徳的諸価値についての理解を図る。また、主体的・対話的な活動を通して、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める。

また、道徳教育推進教師を中心として道徳授業地区公開講座を実施し、家庭や地域と連携した道徳教育の推進を図る。

ウ 総合的な学習の時間

探究的な見方・考え方を働かせ、課題解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成するために課題解決学習、協働的な学習、発表活動への取組を通じたきめ細かな指導を行う。

エ 特別活動

- ・規律ある学校生活等のよき校風を継承させるために、生徒会を中心として礼儀、正しいあいさつについて、議論する場を設定し、自治的な活動を推進する。
- ・「WEBQU」の結果の分析を共有し、教員全員で一人一人の多様性に対応した理解と指導を推進する。

(3) 生活指導

- ・基本的生活習慣を身に付けさせ、自らの意思で社会規範を守る態度を育てる。
- ・集団や社会の一員としてよりよい生活を築こうとする態度を育てるために、学校・家庭・地域社会との連携を深め、健全な生徒の育成を目指す。
- ・「防災ノート」「学校危機管理マニュアル」や避難訓練や交通安全協教室等を活用し、災害時に取るべき行動、災害に備えた生活等についての指導を徹底するとともに、安全・防災の意識を育成する。
- ・不登校及び不登校傾向の生徒について、小・中学校間で情報を共有するとともに、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー等と連携を図る。またSSRの設置に伴い、落ち着いた空間で自分のペースで学習できる環境を整備し、生徒の社会的自立を目指す。
- ・いじめの未然防止や早期発見・早期対応のために、「いじめ防止基本方針」をもとに対策委員会を設置し、組織的に生徒一人一人の心の問題に対応していく。
- ・SNS学校ルールにより、生徒がいじめ等のトラブルや犯罪に巻き込まれないように未然防止を図る。

(4) 特別支援教育

- ・特別支援教室等で、発達障がい傾向及び特性のある生徒への適切な指導を行うとともに、還元研修を通してすべての教員が特別支援教育について理解を深めたり対応力を高めたりすることで、特別支援教育を組織的に推進する。

(5) キャリア教育

- ・持続可能な社会を維持・発展させていく人材を育成するため3年間を見通した進路指導體制の充実を図り、一生学び続ける姿勢の育成を図る。
- ・社会の中で自分らしい生き方を実現できるように、「夢デザインシート」の活用、職場体験や進路講演会等を系統立てて推進する。

(6) 学校としての特色ある取組

- ・生徒に対して全教職員できめ細かな指導を行うとともに、OJTや研修を充実させ教師の指導力の向上を図り、生徒の学力向上につなげる。
- ・生徒の学力向上を図るため、20分間の朝補習教室と朝読書を併用して計画的に実施する。
- ・学習意欲、基礎学力の向上を図るため、家庭学習ノートの活用、年2回の学習コンテスト、サマースクール等の補習教室を実施する。
- ・近隣小学校の夏休み学習教室での学習支援・地域行事運営の手伝い・中学生消防隊等のボランティア活動を推進し、地域社会に貢献することの尊さを学ばせるとともに郷土を愛する心情を育む。
- ・一人一台端末を基盤とした学習を展開し、情報活用能力を育成する。また、AIドリルの活用や授業において課題発見、課題解決、まとめという探究学習を進める等、ICTの活用を推進する。
- ・学校行事においては、運動会の学校種目(ドミノブリッジ)の練習や文化祭での合唱練習などで、学年間の交流を深め、上級生が下級生を指導し、お互いを尊重する気持ちの醸成を図ることのできる場面を設定する。
- ・小中連携研修会において学習指導案検討と授業研究を行い、足立スタンダードをはじめとする効果的な指導方法等の研修を進めるとともに生徒指導の共通理解を深め、中一ギャップの軽減と義務教育9年間の円滑な接続を図る。

[第3表]

資料3-2-2

学校番号 117 学校名 足立区立東島根中学校

3 学年別授業日数及び授業時数の配当

(1) 年間授業日数配当表

月 学年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
1	17	20	22	13	0	18	22	18	20	15	19	18	202
2	18	20	22	13	0	18	22	18	20	15	19	18	203
3	18	20	22	13	0	18	22	18	20	15	19	15	200
土曜授業	0	2	1	0	0	0	2	0	1	0	1	0	7
備考	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1学年は、入学式が4月7日のため1日減。 ○ 第3学年は、卒業式が3月19日のため3日減。 ○ 開校記念日が9月17日のため、9月は1日減。 ○ 土曜授業全7回（振替休業日有2日、振替休業日無5日） 												

(2) 各教科、道徳科、総合的な学習の時間及び特別活動の年間授業時数配当表

学年		1	2	3
教科・領域				
各教科	国語	140	140	105
	社会	105	105	140
	数学	140	105	140
	理科	105	140	140
	音楽	45	35	35
	美術	45	35	35
	保健体育	105	105	105
	技術・家庭	70	70	35
	外国語（英語）	140	140	140
特別の教科 道徳	35	35	35	
総合的な学習の時間	50	70	70	
特別活動（学級活動）	35	35	35	
総授業時数	1015	1015	1015	
備考	<ul style="list-style-type: none"> ○ 書写の指導に配当する授業時数 1年（20）、2年（20）、3年（10） ○ 保健分野の指導に配当する授業時数 1年（16）、2年（16）、3年（16） 			

[第4表の1]

学校名 足立区立東島根中学校

4 学校行事等

日	4		5		6		7		8		9	
	曜	行事	曜	行事	曜	行事	曜	行事	曜	行事	曜	行事
1	水		金		月	振替休業日	水	連	土		火	避難訓練
2	木		土		火		木		日		水	
3	金		日	憲法記念日	水		金		月		木	
4	土		月	みどりの日	木		土		火		金	
5	日	春季休業日終	火	こどもの日	金		日		水		土	
6	月	始業式	水	振替休日	土		月		木		日	
7	火	入学式	木		日		火		金		月	安全指導
8	水	安全指導	金	安全指導	月	学校公開始 安全指導 水泳指導始	水	職場体験始(2)	土		火	
9	木		土		火		木		日		水	
10	金		日		水	体力調査	金	安全指導 職場体験終(2)	月	(閉校日)	木	
11	土		月	国調査(ス3)	木		土		火	山の日	金	
12	日		火		金		日		水	(閉校日)	土	
13	月	定期健康診断始 セーフティ教室	水	避難訓練	土	学校公開終	月		木	(閉校日)	日	
14	火	区調査	木		日		火		金	(閉校日)	月	
15	水	避難訓練	金		月		水	避難訓練	土		火	修学旅行始(3)
16	木		土		火		木		日		水	(連)
17	金		日		水	(連)	金		月	(閉校日)	木	修学旅行終(3) 開校記念日
18	土		月		木		土		火	(閉校日)	金	振替休業日(3)
19	日		火		金	避難訓練	日		水	(閉校日)	土	
20	月		水		土		月	海の日	木	(閉校日)	日	
21	火	国調査(英3)	木		日		火	夏季休業日始	金	(閉校日)	月	敬老の日
22	水	連	金		月		水		土		火	国民の祝日
23	木	国調査(3)	土		火		木		日		水	秋分の日
24	金		日		水		金		月		木	
25	土		月		木		土		火		金	
26	日		火		金		日		水		土	
27	月		水		土		月		木		日	
28	火		木		日		火		金		月	学校公開始 魚沼自然教室始(1)
29	水	昭和の日	金		月		水		土		火	
30	木		土	運動会	火	定期健康診断終	木		日		水	魚沼自然教室終(1)
31			日				金		月	夏季休業日終		

[第4表の2]

学校名 足立区立東島根中学校

月 日	10		11		12		1		2		3	
	曜	行事	曜	行事	曜	行事	曜	行事	曜	行事	曜	行事
1	木	都民の日 足立区民の日 (閉校日)	日		火		金	元日	月		月	
2	金		月	振替休業日	水	(連)	土		火		火	安全指導
3	土	学校公開終 水泳指導終	火	文化の日	木		日		水		水	
4	日		水		金		月	(閉校日)	木		木	避難訓練
5	月		木		土		火	(閉校日)	金		金	
6	火		金		日		水		土		土	
7	水		土		月		木	冬季休業日終	日		日	
8	木	安全指導	日		火		金	安全指導	月		月	
9	金	終業式	月		水		土		火		火	
10	土		火	安全指導	木	安全指導	日		水	連	水	校外学習(3)
11	日		水		金		月	成人の日	木	建国記念の日	木	校外学習(2)
12	月	スポーツの日	木		土	道徳授業地区公開 講座	火		金	安全指導	金	
13	火	始業式	金		日		水	避難訓練	土		土	
14	水		土		月		木		日		日	
15	木		日		火		金		月		月	
16	金		月		水	避難訓練	土		火		火	
17	土		火		木		日		水	避難訓練	水	
18	日		水	連	金		月		木		木	
19	月		木		土		火		金		金	卒業式
20	火		金		日		水	連	土		土	
21	水	避難訓練	土		月		木		日		日	春分の日
22	木		日		火		金	校外学習(1)	月		月	振替休業
23	金		月	勤労感謝の日	水		土		火	天皇誕生日	火	
24	土		火		木		日		水		水	
25	日		水		金		月		木		木	修了式
26	月		木	避難訓練	土	冬季休業日始	火		金		金	春季休業日始
27	火		金		日		水		土		土	
28	水		土		月	(閉校日)	木		日		日	
29	木		日		火		金				月	
30	金		月		水		土				火	
31	土	文化祭			木		日				水	